

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	シミュレーション						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択必修科目(ネットワークコース)／選択科目(ソフトウェアコース)						
担当者	森 正壽						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーションの全体の構造を理解し、モデル化などの各パートにおける機能を理解できる。</li> <li>・単純な数学モデルであれば、自分でプログラムを組んで、結果を出すことができる。</li> <li>・モンテカルロ法では各種の疑似乱数発生ソフトも多数あるのでこれらを使いこなすことができる。</li> <li>・経済モデル、商店経営モデル、自治体財務モデルなどのシミュレーションの概念を理解できる。</li> </ul>						
日程と内容	9月18日 9月25日 10月 2日 10月 9日 10月16日 10月23日 10月30日 11月 6日 11月13日 11月20日 11月27日 12月 4日 12月11日 12月18日 1月15日	1. 概説、成績、全体の説明 2. シミュレーションの基礎と分類 3. 疑似乱数の発生法 4. 乱数の発生によるシミュレーション 5. モンテカルロ・シミュレーション実験 6. 基礎的モンテカルロ法 7. 基礎的モンテカルロ法による数値シミュレーション 8. シミュレーションの可視化 9. 数値シミュレーション解説 10. 待ち行列理論 11. 待ち行列シミュレーション 12. 待ち行列分布:ポアソン分布と指数分布 13. 待ち行列演習1 14. 待ち行列演習2 15. 全体のまとめ 期末試験					
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	20%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	10%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%		0%			
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<p>単純な方程式では記述できないようなシステムを対象とする場合、完全な解答は得られず、システムの挙動は予想できないことになる。このような場合、システムを単純化モデル化し、これを操作することで、近似的ではあるが解答を得ることができる。このような操作をシミュレートすると言い、手法全体をシミュレーションと言う。本講はシミュレーションの基礎を理解し、各分野での専門的なシミュレーションへの足掛かりとして位置づけている。</p>						
反省点	総合授業評価点は、8.3となっておりほぼ満足な結果となっている。						
来年度の計画	本年と同様。						
授業評価アンケートに対するコメント	「演習を増やしてほしい」など記述があり、演習の効果が反映されていることが分かる。						
履修登録者数	26名	定期試験 受験者数	21名	合格者数	20名	合格率	95%